

【園の教育目標】
 ①じょうぶな子 ・戸外で体を十分に動かして遊ぶ子・基本的な生活習慣を身につける子
 ②なかよくする子 ・異年齢や家庭、地域の人たちに目を向け、優しさや感謝の気持ちをもつ子・元気に挨拶ができる子
 ③かながえる子 ・自分でやりたい遊びを見つけ、夢中になって遊ぶ子・最後まで諦めずに挑戦する子

【令和6年度の園評価より】
 ・園の様子から、子どもの育ちについての認識を深めるための家庭（保護者）への情報発信内容の工夫
 （保育の方針やねらい・年齢に応じた育ち など）
 ・地域4園、学園との交流工夫や実施
 ・一人一人の発達に合わせた自己肯定感を高める保育内容の工夫と実践

4段階評価 ○保育者 ☆関係者 ●課題

観 点		短期目標	自己評価	保護者評価	評価及び意見の概要
保 育 ・ 幼 児 教 育 の 充 実	健 康 な 体 つ く り	・着脱、食事、排泄などの生活習慣を身につける。 ・体を動かすことを楽しみ安全に遊ぶ。	3.8	3.4	○神社や寺、川遊びなど、地域の地形を活かした様々な体の動きや遊びを経験できた。 ☆散歩はこれからも継続してほしい。 ★クマ出没のニュースが多い、なるべく山に近づかないルートを工夫してほしい。 ●生活リズムカードを活用した家庭での生活習慣の見直しや、継続することの大切さを伝えていく必要がある。
	社 会 的 発 達	・異年齢や地域の人、学園との連携を深める。 ・挨拶や返事など正しい言葉遣いをする。	3.6	3.6	○地域の行事への参加や施設訪問等で、人との繋がりが広がり、様々な体験ができた。 ☆牧田こども園の子どもたちとの交流は、来年もやってほしい。 ●地域園に限らず、他園児と交流する機会を計画していく。
	精 神 的 発 達	・自分の好きな遊びを見つけ、工夫したり試したりして繰り返し遊ぶ。 ・難しいことやできそうにないことにも諦めずにやってみようとする。	3.6	3.8	○園外保育に積極的に出かけ、四季を充分に感じる事ができた。 ○子どもたちの"やってみよう"事が実現できる時間と場所の確保に努めることができた。 ○異年齢交流の場を重要視し、相手を思いやり頼りにしたりして、関わりを大切にしたい。 ●相手の想いに気付けるような言葉がけを、その都度意識して行っていく。
子 育 て 支 援 の 充 実	地 域 と の 連 携 ・子どもに合わせた行事を工夫し、成長を喜びあえるものにする。 ・相談しやすい雰囲気をつくり園が安心できる場所となる。	3.6	3.8	○異年齢で過ごすことで、大きい子が小さい子の面倒を見たり、見本となったりしてお互いが良い刺激となって、それぞれの成長につながった。 ○日頃から季節ごとや活動時などに、絵や作品などを玄関や廊下に飾り、保護者に発達や成長を伝えながら見てもらう事ができた。 ☆今日あったことや、子どもの様子を教えてもらえるので嬉しい。 ★もう少し子どもの事でゆっくり話せる場がほしい。 ●子ども同士で遊びを進めてける環境づくりの工夫が必要である。	
資 質 ・ 専 門 性 の 向 上	研 修 ・ 研 究 ・地域施設の利用や発信、地域人材(ボランティア)の協力、地域4園交流、学園との連携を図る。	3.5	3.7	○コミュニティーバスの利用によって活動範囲が広がり、様々な体験ができた。また、地域の方にも園の事を知ってもらうことに繋がった。 ○ドキュメンテーションの掲示や、園だより・月だよりで、活動の様子や成長・発達を伝えていったことで、個々の育っている力を少しずつ知ってもらえることができた。 ●学園との連携として、園生活を見に来てもらう機会（夏休み等）が計画できるとよい。 ●子どもや園のことが、どこまで地域の方々に伝わっているかがわからない。	

【次年度に向けて】

- ◎様々な人や物との関わりを経験する中で、自分の思いを言葉にしたり思いを伝えようとしていたりすることができる援助や環境の工夫。
- ◎園の様子をドキュメンテーションや会話の中で伝えながら、子どもの成長・発達について保護者と共通理解していくための工夫。
- ◎他園・学園・地域施設・関係機関との交流や利用などのつながりを積極的に計画することで、地域にとって開かれた園になる工夫。